

## 平成18年度当初予算（一般会計）

# 9,600万円の（前年対比3.8%減）

# 十分に苦勞した予算

### 三月定例会

三月定例会は、三月六日に招集され、二十二日までの十七日間の会期で開かれました。今回の定例会（第一回）では、平成十八年度当初予算、平成十七年度各会計補正予算（三  
月補正）、神石高原町に収入役を置かない条例の制定など五十一議案が提出され、すべて原  
案とおり可決されました。

### 選択と集中に議論白熱

合併以来二度目の通年  
予算となりました。

一般会計の予算総額は  
平成十七年度より四億四  
百万円、三・八%減の一  
〇二億九千六百万円とな  
り厳しい予算編成となっ  
ています。歳入面では、  
依存財源である国・県  
の補助金、地方交付税の  
減による財源不足を税制  
改正や負担金などの自主  
財源の微増と財政調整基  
金・減債基金の取崩しな  
どで確保しており、歳出  
面では、縮減・見送りし  
た事業を含め投資的経費  
（十二%減）、その他物件  
費（十二・三%減）など  
圧縮した「十分に苦勞し  
た」予算となっています。

行財政改革、総合開発  
事業、農林業ビジョン、  
ふれあい事業、新たな介  
護保険事業、県立病院な  
ど本町の当面の課題や将  
来展望に関する予算に論  
議が集中しました。

厳しい財政状態は当分  
続きそうですが、議会は  
住民の皆様とともに知恵  
を出し合って研鑽し、輝  
く神石高原町を目指し  
て、議会としての機能を  
果たしていきたいと思っ  
ています。

一般質問では九名の議  
員、総括質問では十三名  
の議員、事項別質問では  
十二名の議員が行政の課  
題を質しました。



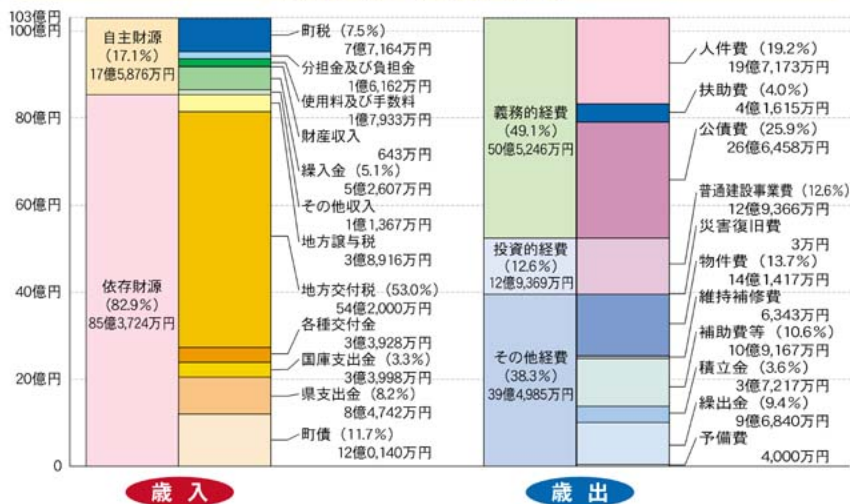
豊松・トマト選果場



議場・理事者席

# 102億

## 平成18年度一般会計当初予算



## 特別会計当初予算

… 総額 61 億 5,200 万円

平成18年度国民健康保健特別会計予算	12億1,100万円
平成18年度老人保健特別会計予算	24億4,400万円
平成18年度介護保険特別会計予算	16億9,200万円
平成18年度簡易水道事業特別会計予算	5億円
平成18年度飲料水供給施設事業特別会計予算	3,500万円
平成18年度農業集落排水事業特別会計予算	2億4,900万円
平成18年度観光施設事業特別会計予算	2,090万円
平成18年度分収育林事業特別会計予算	10万円

# 平成18年度予算編成方針



牧野町長

## 要旨

本町の平成十八年度当初予算は、実質二回目の通年予算であり、予算規模は一般会計において標準財政規模を目標に検討しましたが、昨年と同様一〇〇億円を超える予算となりました。県と同様、十分に財源移譲が行われないうちでの三位一体改革等により、国県補助負担金の廃止・縮減など財源不足が深刻な状況にあります。この歳入不足に対しましては、歳出におきまして、全課一丸となつて歳出を抑え「住民サービスの低下を最小限に留める」ことを前提に努力した予算といたしました。

予算編成の基本的な考え方は、新町の将来像である「人と自然が輝く高原のまち」を基本理念に、新町建設の目標であります五項目の目標達成に向けたものと位置づけしております。

① **快適で魅力に満ちたまちづくり**には、総合開発計画の策定、自治振興会の充実、ふるさとふれあい事業を通して魅力ある生活拠点づくりに努めます。

なお、地域審議会につきましては、主要な任務である新町建設計画の答申という任務がなくなりましたので、平成十七年度をもって廃止することとします。

良好な生活環境の形成に向けては、給水施設・下水道施設・衛生施設の適切な運営を行うとともに、し尿処理施設につきましては、老朽化による汚泥乾燥機の撤去・据付工事を行うこととしております。また、町営住宅につきましては、消防法の改正により自動煙感感知器の設置を順次行いながら、住環境整備の充実を図ってまいります。防災面におきましては、非常備消防における消防団活動の充実を図るため、神石方面隊にC・D型型の消防自動車を配備することといたしております。また、火災時における水利確保のため中山間地域総合整備事業により防火水槽6基の設置を計画しております。

② **保健・医療・福祉の充実したまちづくり**は、地域保健・医療体制の確立など保健福祉センターを中心とした健康づくりの推進を行います。新規事業として福祉事務所の設置による生活福祉の向上、地域包括支援センターによる介護予防事業の充実、障害者自立支援法による障害者の自立できる環境づくり、総合開発整備事業として井間地区の住宅団地整備などを行います。

③ **教育・文化のまちづくり**は、児童生徒の安全な輸送体制の確立、小・中・高校教育支援事業など学力・学校教育の充実、地域の社会教育施設の有効利用ができる環境づくりに努めます。

④ **活力ある産業と交流のまちづくり**では、営農体制の充実と農産物加工・流通体制の強化を図り、中山間地域等直接支払事業、基盤整備促進事業などソフト・ハード両面にわたって各種事業に取り組みます。地域産

業の活性化に向け商工会各種活動の支援を行います。

また農業公社の統合、土地改良区の本化、第三セクターの独立採算にむけ準備検討いたします。

⑤ **交通・情報通信基盤の整備**については、周回道路としての国道・県道改良負担金の計上、町道十七路線の整備など行い、生活交通確保事業として予約乗合タクシーをスタートします。

財源不足は深刻な課題であり、行財政改革に積極的に取り組み、機構改革をも含めた事務事業の見直しを行います。

引き続き「迅速・確実・誠実」のJ・K・Sを合い言葉に本町の存続をかけた取り組みを、住民・職員が先頭に立って臨む所存です。



保健課が入る保健福祉センター